

# 委員会活動報告

本会議で付託された議案等について、**総務委員会・産業建設委員会・教育厚生委員会・予算審査特別委員会**を開き、審査等を行いましたので、その概要をお知らせします。

なお、各議案の内容（ピックアップ）については、一部掲載です。

また、去る9月定例会において、閉会中の継続審査として付託された第71号議案について9月30日、10月1日の2日間で決算審査特別委員会を開き審査しましたので、その概要をお知らせします。

## 総務委員会

審査件数1件

●第82号 島原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例【可決】

**pick up** 国民健康保険税の減額に係る所得基準について、基礎控除額相当分の基準額を33万円から43万円に引き上げる等の規定の整備を行う

## 産業建設委員会

審査件数2件

●第83号 島原市道路占用料条例の一部を改正する条例【可決】

**pick up** 道路法施行令の一部改正に伴い道路占用料の額を変更する

**Q** 本市は地価が下がっているようだが、この改正は額が上がる改正である。そのバランスは大丈夫なのか。

**A** 本市においては地価は現状下がっているが、この占用料の改正は、国の道路法施行令で定められた額を基準に改正を行っている。

**Q** 電柱の使用料について、第1種、第2種、第3種とあるが、その違いは何か。

**A** 共架されている電線の本数が3本以下が第1種、4、5本が第2種、6本以上が第3種である。

●第84号 公の施設の指定管理者の指定について（浜の川湧水観光交流施設）【可決】

**pick up** 浜の川湧水観光交流施設の管理を「株式会社 玉乃舎」が行う

**Q** 応募状況について。

**A** 募集については、市のホームページ、FMしまばら、カボチャテレビ、島原新聞、長崎新聞などで応募条件を出して周知を行った。問い合わせは2件あり、申請書等の書類を配布したが、最終的に1件の応募であった。募集期間は7月22日から9月23日までの2ヶ月間である。

**Q** 応募条件について。

**A** 条例で観光交流施設は地元特産品等の宣伝・販売というのがあって、その範囲内ではいただければということの特段条件等は付けていない。

**Q** 銀水を指定管理にすることのメリットは。民の活用や経費の削減は。

**A** 現状でできない部分、例えば体験や、銀水を使った活用などを民の力を借りながらしていただきたい。

また、現在は直営で収支の均衡を保ちながらやっているのが現状である。指定管理料については、現在のところゼロでもやっていけると思う。

**Q** 現在、直営で雇われている銀水の職員と銀水の味は、どうなるのか。引き継ぎ等もきちんとしてほしい。

**A** 現在の銀水の職員を優先しての採用、また、今の銀水の味を引き継いでいきたいという意向をお聞きしている。

**Q** コロナ禍で指定管理をするということで、官が民を圧迫する心配があるが。

**A** 銀水に限らず、官が民業を圧迫するということは避けるべきであり、行政がすべきこと、民間がやるべきことがあると思う。銀水の昔の面影を残しながら島原の風土を堪能いただくという基本的なスタンスを持ちながらやっていきたい。



浜の川湧水観光交流施設「銀水」

## 教育厚生委員会

審査件数1件

●第87号 令和2年度島原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）【可決】

**pick up**  
予算の総額に歳入歳出それぞれ105万6千円を追加し、予算の総額を6億5110万円とする

Q 島原地域広域市町村圏組合電子計算機管理費負担金について、昨年度の決算額は約338万円であるが、今回の補正予算で一度に約105万円も計上されている理由は何か。

A 税制改正で、住民税の基礎控除見直しに伴う所得課税情報の変更が生じたことによるシステム改修の経費である。

Q 財源について。

A 105万6千円を一般会計から繰り入れているが、そのうち、国からは高齢者医療制度円滑運営事業費補助金として、21万千円交付予定である。

## 予算審査特別委員会

審査件数1件

●第86号 令和2年度島原市一般会計補正予算（第11号）【可決】

**pick up**  
予算の総額に歳入歳出それぞれ5億5859万3千円を追加し、予算の総額を300億4870万1千円とする

審査に当たっては、まず常任委員会を単位とする各所管の分科会からの審査報告を行い、その後、総括質疑を行いました。



島原市ふるさと納税の返礼品の一部

Q ふるさとしまばら寄附金事業の消耗品費9千万円の内訳と、増収の要因について。

A 消耗品費についてはふるさと納税の寄附金に対する返礼品代である。当初予算で5億円計上しているが、現時点で4万3205件の7億2964万5千円の寄附があっており、当初予算を大幅に上回る寄附が届いている。返礼品については昨年度末404品目あったものを、本年度12月末現在で662品目まで造成できたこと、また、昨年度4サイトあったポータルサイトを本年度は10サイトまで増やし寄附の募集を行ったことが、寄附が増えている大きな要因ではないかと考えている。

Q 台風被災農業用施設等復旧対策支援事業補助金の事業内容について。

A 台風9号、10号により被災した農業用施設や畜舎の修繕等を支援する事業で、県が新たに創設した補助事業である。補助率は県が10分の3以内、市が10分の1であり、自己負担が10分の6である。今回は、養鶏の3経営体が被災した鶏舎の屋根、カーテン等の修繕を行うものである。

Q 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業について。

A コロナウイルスワクチンの予防接種を実施するに当たり、接種券を発行して全市民に発送することになるので、その準備のための予算を計上している。接種券については65歳以上の方から順に発送することになっており、国は65歳以上の方に対しては3月12日をめどに発送をするように示している。

接種順位は医療従事者がまず最初で、その後、65歳以上の方、基礎疾患を持った方、60歳から64歳までの方、そして一般の方となり、接種時期については医療従事者が2月の中旬頃から下旬にかけて、その後、65歳以上の方は3月末頃からの予定となっている。

Q 小・中学校ICT推進事業費について、1人1台端末導入など前にも補正予算が組まれているが、それらの事業費が不足したため、今回追加で補正予算が計上されているのか。

A 今回の事業内容は、学校の巡回相談や教職員の研修支援、また、各種のマニュアル作成等の環境整備の初期対応など、ICT環境における設定、運用面の支援を行うもので、これまでの事業とは別のものとなる。

Q スクールサポーター配置支援業務委託料について。

A スクールサポーターは、小・中学校を合せて3名を予定しており、雇用については、本市はICTの人材不足ということもあり、スクールサポーターの確保が見込めないことから、ノウハウのある業者に委託する予定である。業務の実施時期は、1人1台端末及び高速ネットワークの整備終了後の3月から開始し、6月までの4ヶ月間を予定している。

### pick up (歳出)

|                      |                        |                           |                            |                                  |                            |                               |                        |
|----------------------|------------------------|---------------------------|----------------------------|----------------------------------|----------------------------|-------------------------------|------------------------|
| ふるさとしまばら寄附金事業<br>3億円 | 障害者自立支援給付費<br>9108万1千円 | 地域介護・福祉空間整備等事業<br>554万8千円 | 地域医療介護総合確保基金事業<br>2212万2千円 | 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業<br>639万7千円 | 産地生産基盤パワーアップ事業<br>1448万8千円 | 台風被災農業用施設等復旧対策支援事業<br>436万3千円 | 小中学校ICT推進事業<br>334万7千円 |
|----------------------|------------------------|---------------------------|----------------------------|----------------------------------|----------------------------|-------------------------------|------------------------|

## 決算審査特別委員会

●第71号 平成31年度(令和元年度) 島原市一般会計歳入歳出決算【認定】

| pick up |                |
|---------|----------------|
| 歳入決算額   | 246億5983万1715円 |
| 歳出決算額   | 241億2422万5160円 |

審査に当たっては、市長から提出された「決算の概要」、「主要施策の成果説明書」、監査委員から提出された「決算及び基金運用状況審査意見書」などを参考にしました。

Q コミュニティバス運行事業費は予約受付業務委託料が約34万円、自動車購入費が約1235万円、運行事業補助金が約237万円などで、合計が約1753万円、実績は予約件数が86件、乗車人数が121人だが、どのように捉えているか。

A 自動車購入費については初期投資ということでやむを得ない部分もあるが、乗車率が悪く、改善していく必要があると認識している。市民の皆さんに乗車していただくような工夫をしかけていきたい。

Q 島原市地方バス路線維持費補助金として、市内の赤字路線に対し2500万円程度を負担しているが、コミュニティバス事業を展開するなかで、赤字路線の在り方についてはどのように考えているのか。

A 赤字路線については、コミュニティバスを活用していく方向性で島鉄と協議を進めている。赤字の補填については、今後見直しが必要になると思っている。

Q 敬老無料入浴サービス事業について、利用者数を増やすために、市内の宿泊施設も利用できるように検討すべきではないか。

A 財政状況もあるので、事業費を増やすことは厳しいが、入浴料について宿泊施設に協力いただけるかどうかを含めて、検討させてもらいたい。

Q 産前産後のママサポート事業について、決算額は21万5500円であるが、この事業には手厚いサポートが必要だと考えている。この事業費で事業はきちんと実施されているのか。

A 平成31年度(令和元年度)は、利用者8人、延べ利用日数が71日、延べ利用時間が154時間である。

Q 地下水等水質検査について、大三東地区は15か所中10か所が基準超過であるが、原因は何か。

A 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素によるものだが、以前から大三東地区と三会地区の数値が高い傾向にある。両地区とも共通して農業が盛んな地域であり、原因について今まで研究されてきたが、これという特定はできていない。

Q ごみ量が年々少しずつ減ってきていると思うが、市としての目標を年間どのくらいに設定しているのか。

A 現在、市で取り組んでいる4万人のごみ減量プロジェクトにおいては目標として市民一人1日当たりのごみ排出量を850グラムに設定している。年間にすると約310キログラム、全市民のごみ排出量では約1万3000トンになる。

Q 島原市シルバー人材センター運営費補助金1443万円を補助しなれば運営ができない状況なのか。

A 昨年度の決算では収支の差額が約340万円となっている。市からの補助がなければ運営が厳しい状況だと認識している。



**Q** 水産多面的機能発揮対策事業負担金について、島原地区の藻場の保全の事業費が288万円だが、現状はどうなっているのか。藻場を再生するのは難しいのか。

**A** 島原地区環境・生態系保全活動組織は、藻場の保全としてアマモの増殖、湊島におけるヒジキの増殖を行っている。アマモについては、新田町のスクイの南側において母藻移植の作業を漁業者と一緒に実施しており、近年はその範囲が広がっている。また、ヒジキについては、湊島の一つの島を保護区として漁師が守っており、ヒジキが定着するブルックをほかの島に広げていき、時期によってはかなり繁茂した状態を確認しているもので、効果は出てきているものと考えている。

**Q** 企業立地促進・雇用創出事業の経済効果は。

**A** 昨年度は4法人に418万9千円の補助金を支出した。平成24年度から令和元年度までに18件の指定を行い、200人を超える新たな雇用を創出した。これまでに固定資産税や市民税等、総額で1億7千万円ほどの税収増につながっており、大きな経済効果があっている。

**Q** ゆとろぎの湯は本市の中心的な観光材料であり、また市民の健康維持、増進を図る施設である。歩行湯の修繕を早くしないといけないと思うが、計画はあるのか。

**A** ゆとろぎの湯の施設全体が老朽化をしており、歩行湯のみではなく全体的な施設の在り方も踏まえた中で検討したいと考えている。具体的計画の策定までには至っていない。

**Q** 広馬場下公有水面埋立事業について総額は、完成後の活用方法は。

**A** 合併特例債による市の単独事業で、総額2億7200万円を予定している。令和3年度末の完成予定で防災広場を計画しているが、地元の方々に意見を聞きながら有効な利用方法を検討したい。

**Q** 白土湖管理経費の水草処理業務委託料約317万円だが、前年度の半分である。その理由と効果は。

**A** 藻刈船を長期契約でリースしたことで、また、人件費の関係で減額となっている。以前は年5回の水草処理であったが、今回の藻刈船では週2回で刈り取りを行い、比較的きれいな状態を保っている。



白土湖

**Q** 防災情報集約システム構築事業約4651万円について、内容は。

**A** 新庁舎の建設とともに導入した。気象情報等の自動収集、状態管理の一元化を行うことで、気象災害への対応の迅速化が図れ、市民等への避難準備情報などの情報発信が遅れることなく出せる。

**Q** 小学校ICT推進事業について、教育用パソコンを購入しているが、これはGIGAスクールの分も含まれているのか。

**A** 今回購入したパソコンについてはGIGAスクールでも使用することとし、無駄になる機器が出ないように考えている。

**Q** ICT支援員用の軽自動車の購入だが、各学校を回っているのか。

**A** ICT支援員が各学校をほぼ毎日巡回し、ICTいわゆるパソコンでの業務や授業のサポートのほか、ZOOMのアプリ導入のサポートも行っている。

**Q** 九州学生駅伝大会開催費補助金1792万円の経済効果は。

**A** 開催にあたりテレビ放映において事前告知や大会の55分番組などで、島原の観光スポット、世界ジオパーク、島原の特産品といった島原の魅力を九州一円に放送していただいております。島原の観光宣伝の効果が相当あるものと思っています。

**Q** アレルギーマスクがある児童生徒への対応が、島原市は少し遅れていると思う。修繕費が多いということであれば、給食センターをつくり、午前中は子どもたちの給食を、午後は高齢者の食事を作るなど、合理的でアレルギー対策もできるような施設の計画を考えてみてはどうか。

**A** 給食センターの建設については、現存の調理場等の統廃合等も含め、管理計画で考えている。老朽化等も含めて少し見直しをする時期なので御指摘の件も含め検討したい。